

皆さん、おはようございます。

今日は7月1日『自戒の日』であります。

これは、言うまでもなく平戸市職員として市民の皆様の信頼にしっかり応えることが出来ているかどうかについての自己反省とともに、私自身を含めて毎年行うために定めた「自らを戒める日」です。

その目的は、昨年、連続して市職員が犯した不祥事によって、市内外の多くの皆様方の信頼を大きく失墜したことを決して忘れることなく、改めてこれまでの業務内容や組織内外の人間関係を振り返り、決意も新たに任務の遂行を果たすための誓いを共有することにあります。

今のところ懲戒処分にあたるような事案は見受けられませんが、ちょっとした油断や自分への甘さ、「このくらいならいいさ」とか「そのうちにやるから今でなくても・・・」という緊張感の欠如が後になって取り返しのつかない不祥事の種になりかねません。

5月に明るみに出た県内自治体トップによる官製談合事件は、県民にとって極めて衝撃的な内容でした。

決してあってはならない不祥事であるとともに、その後の市政の執行に多くの抗議や批判が寄せられるなど混乱とともに事態の収拾と今後の信頼を回復するうえで深い傷跡となって今もなお大きな後遺症を残しているようです。

私たちはこのことを決して他人事ではなく「他山の石」として胸に刻みながら、「人間は必ずミスをするものだ」という認識のもと、不祥事撲滅のために自分自身を厳しく見つめ直し、お互いを励まし合い信頼関係を確認しながら日常業務に精進しなければなりません。

ところで平戸市は現在、観光統計に裏付けられた交流人口の増大やふるさと納税などの実績とともに、内外ともに「元気で活力が感じられ、魅力ある自治体になっている」との高い評価をいただいています。また私たちの呼びかけに応じてくださった意欲ある市民の皆様のご取り組みは幾つものメディアで紹介され、その波及効果が確かな実績として感じられています。こうした勢いや流れを維持しつつ、謙虚な気持ちでお互いに称えあい盛り上げていきましょう。

さて先般来、サッカーのワールドカップが開催されましたが、残念ながら皆さんご承知の通りの結果になりました。国の威信をかけ戦う気概に満ちた代表選手に対し、多くの国民は期待を寄せていましたが、リーグ戦では一勝もできず敗退という結果は大きなショックと落胆をもたらしました。しかしその後のザッケローニ監督や選手各位のインタビューでは等しくその無念の気持ちが述べられたものの、総じ

て潔くまた鬼気迫るものがあり、4年後に向けた次なる希望を共感できたのではないのでしょうか。確かに勝って歓喜する瞬間を待ち望みはしましたが、一方負けてこそ学ばされることも多いものです。

さらにその一方で、第1戦のコートジボワールに惜しくも敗れた際には、日本人サポーターの皆さんが、敗戦の悔しさを胸に抱きながらも、誰云うとなくしかも目立とうともせずにさりげなくやっけてのけた「青い袋のクリーン作戦」は、神神しくさえ見えて「跡を濁さなかった立つ鳥」として世界中の賞賛を浴びる結果となりました。しかもその行いが最後の戦いの日まで続けられたその勇気と礼儀正しさは、まさに日本人の誇りとして語り継がれるにふさわしい宝物となりました。

そして、この選手やサポーターによるこれらいずれの行いも「それぞれの立場で出来ることを悔いなく全力で出し切る」という覚悟に裏付けられた懸命のパフォーマンスが私たち国民に大きな感動を与えてくれたものと確信します。

これと同様に私たちも与えられた任務の中で担当する事業ごとに同じような覚悟を抱きながら、真剣勝負で取り組むという姿勢が不可欠だと思います。そして、仮に予想できなかった悪い結果が出たとしても、これを隠さず、遅滞なく上司に報告・相談し次の手を打つスピード感と責任ある対応が重要です。

孔子が遺した戒めの言葉に「過ちては改むるに憚ること勿れ」というのがあります。つまりこれは、失敗を恐れるな、そしてこれを先送りせず真摯に迅速に対応すべしということにも理解できます。そして必要なことは、その失敗について各自が深く反省しながら、過ちを繰り返さないという固い決意のもと、気持ちを切り替えて前に進むことです。

改めて申し上げますが、本来、公務員は全体の奉仕者であり、その業務は厳正中立でなければならず、公平公正なる立場において課せられた任務を全うしなければならないことは言うまでもありません。またそのことは、これまでに折に触れて何度も申し上げてきましたし、皆さんも当然のこととして理解しておられるはずです。

今日のこの7月1日を「職員全てが自戒する日」として、胸に手を当て、現在、自分は自らの職務に真摯に向き合っているか、上司や同僚の信頼を得ているか、市民の皆様のご期待にきちんと応えているか、今一度、私とご一緒に思いをめぐらせながら自戒しましょう。そして自分への厳しさを確認し、新たなる「やる気」と己を信じる「勇気」をもって自分を奮い立たせようではありませんか。

そしてこの誓いを共有することで、市民の皆様へのさらなる信頼回復に向けて全力を挙げて取り組む新たな節目にしたいと思っております。

ともに頑張りましょう。

以上、心からなる思いを込めて本年度の「自戒の日」の訓示といたします。

平成 26 年 7 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦